

第3学年 国語科学習指導案

1. 単元名 「百羽のつる」 花岡 大学

2. 目 標

- 物語「百羽のつる」から、先頭のつるや子どものつる、九十九羽のつるそれぞれの仲間を思う心のすばらしさを読み味わうことができる。
- 物語を百羽のつるの「すばらしさ」という視点から丸ごと読みすることを通して、つるたちの行動や様子を作品全体を通してつないで読むことができる。
- 作品を読んだの思いや考えを交流することを通して、一人一人の感じ方に違いがあることに気づき、自分の読みを深めたり広げたりすることができる。

3. 指導上の立場

○教材観

長く苦しい渡りの旅を続けながら、一羽の落伍者も出さずに、仲間を大切にして飛ぶつるの群れの姿を描いた作品である。力尽きて飛べなくなった子どものつるは、みんなに迷惑をかけまいとし、九十九羽のつるは、かけがいのない一羽のために心を一つにして助ける。疲れ切った百羽のつるたちの互いに仲間を思う行動を描くことで、優しさと強さが語られている。したがって、物語全体から百羽のつるの「すばらしさ」を感じるところを見つけ味わう丸ごと読みの学習には、主題がとらえやすく有効な教材であると考ええる。

自分と仲間のかかわりに目が向き、自立心も強くなり始めるこの時期の児童にとっても、ごく自然に子どものつると九十九羽のつるの行動に意識が焦点化され、主体的な読みを進めやすい物語であると考ええる。

○児童の実態

削除しています。

○研究テーマとの関連

「心を開き、思いや考えをことばで伝え合う子どもの育成」

①発問の研究

丸ごと読みの学習における仲間読みでは、児童が課題に対して見つけた考えを発表し合う時間の占める割合が大きい。話し合いを深めたり広げたりできるよう、子どもの子どもの反応に即した発問を用意したい。児童の読み取りに適応し、まとめていくためには、十分な教材研究をしておきたい。広がり考えた主発問はもとより、より目標に迫るための補助発問、揺さぶり発問を準備しておきたい。

②学び合いの研究

初発の感想発表の際には、挿絵に見やすく短冊を掲示して、全員が感じたことを共有しやすくし、共通の課題を確実なものにするようにする。一人読みの後の仲間読みでは、2・3人のグループを作り、自分の読みを発表し合うようにする。友だちの意見を聞いて自分の意見に自信をもったり、全体で発表する練習になったりと大切にしたい活動である。全体読みでは、コの字体型の机配置にして、お互いを見ながら、話し合いを進めやすくする。また、お互いの考えをじっくり聞き合い、話し合いを効率よく行う手段として、ハンドサインを用いる。発表の言い方では、話形を使い分けて、友だちの意見に反応しながらまとまった話し合いになるようにしたい。

○指導法の工夫

①めあてをつかむ（初発の感想・課題づくり）

単元の導入時には、物語を表情豊かに範読し、児童を物語の世界に引き込むようにして、瞬間的に浮かんできた新鮮な感想がもてるようにする。さらに、挿絵を使つてのあらすじ確認などにより、作品の概要を前もってとらえさせ、課題につながる作品全体の情調をふまえた感想が出るようにしたい。

初発の感想では、一枚の短冊に一つの感想とし、みんながわかりやすいように短文で書かせるようにする。その際、心の動きを表す言葉を掲示し、「○○は△△だなあ」「○○は△△かな」という表現にさせて、どのつるに対しての感想か○○は主語をはっきりさせて書くように指導する。

課題づくりでは、感想を概観させ気づいたことを話し合わせる中で、児童とともに分類し、『百羽のつるの「すばらしさ」について確かめよう』をつかませる。

②自分の読みを持つ（一人読み）

一人読みの活動の前に、範読を聞いたり自分での音読活動を入れ、課題に関する部分を見つけやすくさせる。

全文ワークシートを与え、課題に関係する所にハートマークを付けさせたりサイドラインを引かせたりする。そこへ理由や気づき、自分の思いを書き込む活動では十分時間を確保し、発表への意欲につなげるようにする。

③読みを確かめる（仲間読み）

一人読みをしたことを発表し合う。紹介しやすいように、まず2、3人グループで仲間読みして自信をもたせ、その後学級全体で仲間読みをさせるようにする。いろいろなつるの「すばらしさ」がたくさん発表されると思うので、特に「子どものつる」「先頭のつる」「子どものつるの前のつる」「九十九羽のつる」「百羽のつる」に分けて考え、児童の考えをわかりやすくまとめていきたいと考える。

④単元構想の工夫

第3次では、文章表現のすばらしいところを確かめる活動を取り入れ、言語感覚を磨くようにする。その後、百羽のつるたちの気持ちがよく伝わるように工夫して表現読みすることをめあてにして朗読会をし、さらに作品を味わいたい。

4. 指導計画（全7時間）（新出漢字・言葉の意味調べ・音読練習は、別時間）

	学 習 活 動	支 援 と 評 価
第1次 (2) 丸ごと読みの課題をつかむ	第1時 物語のあらすじをつかみ感想をもつ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">感想を短い文で書こう。</div> <p>○範読を聞き、初発の感想を短冊に書かせる。 ○直観的な感想になるよう、「○○は△△だなあ。」という文型で書き進める。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">文型に合わせて、自分なりの感想を書くことができる。 (短冊の感想)</div>
	第2時 初発の感想を紹介し合い、丸ごと読みの課題をつかむ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">感想をしょうかいし、読みのめあてを立てよう。</div> <p>○挿絵の下に感想を位置づけて、何に対する感想なのか確認できるようにする。 ○紹介後、自分の感想との類似点、相違点を確認させ、自分の読みに生かすようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">短冊に書いた感想を紹介することができる。 (発言)</div>

第2次 (3) 課題に即して物語を丸ごと読みする。	第1時 百羽のつるが「すばらしいな」と思うところについて一人読みする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">百羽のつるが「すばらしいな」と思うところを考えよう。</div> <p>○百羽のつるのすばらしいと思うところにハートマークとサイドラインを引き、理由を書き込むことにより、自分の考えをもつことができるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「すばらしいな」と思うところを見つけ書き込むことができる。 (観察・ワークシート)</div>
	第2時 百羽のつるが「すばらしいな」と思うところを仲間読みし、課題を確かめる。 (本時)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「すばらしいな」と思うところをたしかめよう。</div> <p>○書き込みを基に発表できるようにする。 (グループ読み→全体読み)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「すばらしいな」と思うところを理由をつけて発表できる。 (発言)</div>
	第3時 クライマックスの場面を読む。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">九十九羽のつるが子どものつるをどう助けたのか考えよう。</div> <p>○前時を想起し、子どものつるを助きたい気持ちの大きさについて話し合う。 ○4種の絵を提示し、「一枚の白いあみ」になって飛ぶイメージをもちやすいようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">子どものつるを助けるつるたちの様子について発表できる。 (発言)</div>
第3次 (2) 表現	第1時 物語の表現の工夫を見つけ、話し合う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">文章のすばらしいところをたしかめ合おう。</div> <p>○心に残るすばらしい表現についてワークシート</p>

の工夫を見つけた作品を味わう。		にサイドラインを引き、理由を書き込む。 ○お互いの考えをハンドサインを使って発表し、学び合う。
	第2時 朗読会をし、作品を味わう。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 自分が素晴らしいと思うところが理由をつけて発表できたか。 (発言) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学習したことを生かして、朗読会をしよう。 </div> <p>○つるたちの思いや表現のすばらしさが伝わるように、音読練習の成果を発表し合い、お互いの感想を言い、がんばりを認め合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 学習したことを生かして音読ができたか。 (観察・感想) </div>

5. 本時案 (第2次第2時)

目 標	「素晴らしいな」と思うことを話し合うことを通して、百羽のつるそれぞれの仲間を思う心のすばらしさについて読み味わうことができる。	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価
1. 課題を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> それぞれのつるが、「素晴らしいな」と思うところについて話し合おう。 </div>	
2. 仲間読みをする。 ①グループで ②全員で 主発問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2、3人グループで前時に見つけた「素晴らしいな」と思うところを紹介し合わせる。 ・ グループ内で発表することで、安心感や自信をもたせたい。 ・ 百羽のつるが「素晴らしいな」と思ったところを発表させる。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> それぞれのつるが、「素晴らしいな」と思ったところはどこですか。理由も発表しましょう。 </div>		

予想される発表

- なにせ、北のはてのさびしい氷の国から、昼も夜も休みなしに、とびつづけてきたのです。
→百羽のつるは、さむいによくとびつづけてがんばっているなあ。
- 「もう、あとひと息だ。みんながんばれよ。」
→先頭のつるは、つかれているのに、仲間思いでやさしいなあ。
- 百羽のつるは、つかれた羽に力をこめて、しびれるほどつめたい夜の空気をたたきました。
→百羽のつるは、しびれるほど冷たいのに、力をふりしぼってがんばっていてすごいなあ。
- 子どものつるは、みんなに助けをもとめようとは・・・こわしくなかったからです。
→子どものつるは、なかまにめいわくをかけないようにがまんして、すごいなあ。
- そのすぐ前をとんでいたつるが、するどく鳴きました。
→子どものつるの前のつるは、仲間ですぐ知らせて、自分もつかれているのにやさしいな。
- すばらしい九十九羽の曲芸は、みごとに、あみの上に子どものつるを受け止めると、そのまま空へまい上がりました。
→九十九羽のつるは、すごい速さで落ちて白いあみを作って、子どものつるを受け止めたのが、すばらしいな。
- 気をうしなつた子どものつるを長い足でかかえた、先頭のつるは、・・・何事もなかったかのように・・・「さあ、もとのようにならんで、とんでいこう。・・・」
→先頭のつるは、堂々としてリーダーとしてすばらしいなあ。
- 百羽のつるは、まっ白な羽をそろえて・・・消えていきました。
→百羽そろって、がんばってとんで行ったのがすごい。

【発言】

- 理由をつけて発表できる。
- 評価児童への手だて
・ワークシートの書き込みに自信がもてる評価をし、発表に自信をもたせておく。

- ・机をコの字に並べ替えることによって、話し手と聞き手をつなぎやすくする。
- ・友だちの意見をしっかり聞き、ハンドサインで意思表示させる。付け足して言えている児童を賞揚し、学び合いの励みとさせる。
- ・友だちの意見に賛同したら、自分のワークシートに書き加え、考えを広げさせる。

補助発問

一番仲間のことを思っているなあと感じたところはどこですか。理由も発表しましょう。

<p>3. まとめをする。</p> <p>4. 次時の学習を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すばらしいと感じた部分はたくさん出ると思われるので、目標である「仲間を思う心」に焦点をしばって、読みを深めていく。 ・特に、「子どものつる」「先頭のつる」「百羽のつる」としばって、仲間を思う心のすばらしさについて考えていくようにする。 ・学習をふり返って、それぞれのつるについて心に残ったことを感想に書くようにする。 ・感想を紹介し合ったり、書き加えたりさせる。 ・クライマックスの場面を詳しく読むことを伝える。 	<p>【手紙】</p> <p>○思いを手紙にすることができ る。</p> <p>C 評価の児童への手だ て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書く相手を決め、板書を参考にさせる。
---------------------------------------	---	--

6. 本時の評価

- A・・・百羽のつるの仲間を思う心のすばらしさに気づき、発表したり、感想に書いたりすることができる。
- B・・・百羽のつるが、「すばらしいな」と思うところを、理由をつけて発表することができる。
- C・・・百羽のつるが、「すばらしいな」と思うところを、発表することができない。